



報道写真展

平成の軌跡

そして令和へ



2019.7.6[±] → 9.29^日

N ニュースパーク
日本新聞博物館

FOOTPRINTS OF
THE HEISEI ERA
AND
ARRIVAL OF
THE REIWA ERA



◎開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ◎休館日：月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)
主催：公益財団法人 新聞通信調査会、ニュースパーク(日本新聞博物館) 協力：共同通信社 後援：神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会

◎会場：ニュースパーク
(日本新聞博物館)2階企画展示室



左段1 | 雲仙・普賢岳で大規模火砕流 (1991.6.3)

2 | アテネ五輪競泳で北島が金 (2004.8.15)

3 | 障害者施設で大量殺傷事件 (2016.7.27)



右段1 | 避難先の体育館に身を寄せる被災者 (2011.3.11)

2 | 陸上男子リレー、リオ五輪で銀 (2016.8.19)

3 | 地下鉄サリン事件が発生 (1995.3.20)

報道写真展

平成の軌跡 そして令和へ

1989年1月に始まり約30年を歩んだ「平成」はことし4月、その幕を閉じて新しい元号「令和」に引き継がれました。

平成の始まりはバブル経済真っ盛りでした。その後続く長い景気停滞は社会にも暗い影を落としました。阪神・淡路大震災、東日本大震災をはじめとする大規模な自然災害、オウム事件など凶悪犯罪の多発や政治の劣化、国内外の分断の風景も時代の空気を重くしました。半面、スポーツ選手の活躍や数多くのノーベル賞の受賞など明るいニュースもありました。そして、明治、大正、昭和と異なり平成は日本が戦争の当事国とはならなかった時代でもありました。

昨年11月から12月にかけて東京・有楽町の東京国際フォーラムで開催した通信社の報道写真展「平成の軌跡」は好評を得ました。今回はこれをベースに、その後の「令和」への改元を伝える写真を加えたほか、平成時代の新聞号外や懐かしい物品も展示します。

●入館料

一般	400円	※20人以上の団体は100円引きます。事前に電話でご予約ください。
大学生	300円	※障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料です。
高校生	200円	※校外学習の引率の先生方は、学生・生徒・児童と同じ料金で入館いただけます。
中学生以下	無料	

●開館時間

午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)



ニュースパーク 日本新聞博物館

2階企画展示室

〒231-8311

神奈川県横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター

TEL: 045 661 2040 FAX: 045 661 2029

●交通アクセス

●みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口(情文センター口)直結 ●JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分 ●横浜市営バス「日本大通り駅」徒歩1分 ●観光スポット周遊バス「あかいくつ」日本大通り下車 正面 ●首都高速「横浜公園出口」から約3分

※横浜情報文化センター駐車場・日本大通り地下駐車場をご利用ください。

詳しい情報はWEBで!

ニュースパーク

検索

<https://newspark.jp>



●関連企画

7月20日(土)14時～16時

皇位継承儀式と皇室の課題

山田昌邦氏(共同通信社 皇室取材チーム長)

8月10日(土)14時～16時

宇宙特派員、土と向き合う

秋山豊寛氏(農民、ジャーナリスト、宇宙飛行士)

※いずれも事前の申し込みが必要です。詳しくはニュースパークのホームページをご覧ください。